

# 長崎市 遠藤周作文学館



遠藤が愛用した机(左)や、『沈黙』などの直筆原稿が展示されている。遠藤は400字詰め原稿用紙の裏に、鉛筆を用いて実に細かい字で執筆した。秘書が清書すると、1枚で原稿用紙8〜9枚分になった。外海の手を見下ろすように建っており、ここからの日没の様子は絶景 ●長崎市東出津町77



# 雲仙地獄



最高120℃の熱水がシューシューと音をたてて激しく噴き出し、強い硫黄臭が漂う。まさに地獄のイメージそのものだ。熱湯をかけられ拷問されたキリシタンもあり、記念碑が建てられた(右)。見学に来た監督のインスピレーションを強く刺激したのだろう。映画の冒頭に重要なシーンとして登場(左) ●雲仙市小浜町雲仙



# スコセッシ監督が舌鼓を打った 長崎の海の幸



桃苑

新地中華街にある。監督は来店時に期限限定で提供されていた海鮮ちゃんぽんと海鮮皿うどんを注文した。なお普通のちゃんぽんでも、魚介の出汁は十分に利いている

長崎市新地町13-10 ホテルJALシティ長崎 2F  
☎095-825-2580  
開11:30~14:00L.O.、17:30~20:30L.O. 困なし  
写真は海鮮版で、1月現在は提供されていない。ちゃんぽん、皿うどんとも昼896円、夜は角煮入りで1296円



久栄

外海地区にある割烹料理店で、遠藤夫妻も利用していたという。この時期はミズイカ、もう少し経つとウニがおススメ。監督は器用に箸を使い、旬の刺し身を堪能した

長崎市下黒崎町1411-2  
☎0959-25-0052  
開11:30~19:00L.O. 困盆と正月のみ  
伊勢海老山掛け丼2376円(税込み・以下同)には伊勢海老の味噌汁がつく。活き烏賊定食2700円

